

超スマート社会に向けて

ー AI（人工知能）や IoT（モノのインターネット）により私たちの生活はどう変わるかー

スマホ（スマートホン）が身近な存在となり、いまや身の回りの多くの“モノ”がインターネットにつながる時代が目の前に迫ってきました。そこに人工知能（AI）が登場し、その高度な判断能力は私たちの社会に計り知れない影響を与え始めています。

本講演会では“超スマート社会”と呼ばれるこれからのネットワーク社会を俯瞰するとともに、近い将来これらの技術が社会にどのような影響を及ぼし、私たちの生活はどのように変わっていくのか、専門家とともに一緒に考えていきます。

開催日時

平成 29 年 9 月 30 日(土) 13:00 - 17:00

会場

京都大学 吉田キャンパス（本部構内）
国際科学イノベーション棟 5 階シンポジウムホール

どなたでも
参加いただけます。

参加費
無料

参加申込
不要

〈総合司会〉

日本学術会議第三部会員・大阪大学大学院情報科学研究科教授

開会の挨拶

日本学術会議近畿地区会議代表幹事・京都産業大学現代社会学部教授

日本学術会議会長・豊橋技術科学大学学長・東京大学名誉教授

趣旨説明

日本学術会議第三部会員・京都大学特任教授

講演1 「超スマート社会を実現するビッグデータ創出技術」

京都大学大学院情報科学研究科教授

講演2 「人工知能のもたらしつつあるもの」

日本学術会議連携会員・京都大学大学院情報科学研究科教授

講演3 「自動運転の技術開発とその課題」

トヨタ自動車株式会社 コネクティッドカンパニー ITS企画部部長

講演4 「AIは雇用を奪うか」

駒澤大学経済学部准教授

全体討論

「AIやIoTが進展していく生活世界を私たちはどう受けとめたらよいか」

コーディネータ: 日本学術会議第一部会員・立命館大学経営学部教授

閉会の挨拶

東 野 輝 夫

梶 茂 樹 隆

大 西 隆

吉 田 進

原 田 博 司

西 田 豊 明

木 津 雅 文

井 上 智 洋

兵 藤 友 博

東 野 輝 夫

- 定 員 260 名（当日先着順）
- 主 催 日本学術会議近畿地区会議、京都大学
- 後 援 公益財団法人 日本学術協力財団
- お問い合わせ先
日本学術会議近畿地区会議事務局（京都大学内）
TEL 075-753-2041 FAX 075-753-2042
Email kensui.soumu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

<アクセス>

- 京阪電鉄 出町柳駅2・4番出口から徒歩20分
- 京都市バス 「京大正門前」下車、徒歩3分
- ・ JR 京都駅から「206系統」祇園・北大路バスターミナル行き
- ・ 阪急河原町駅から「201系統」祇園・百万遍行き 「31系統」高野・国際会館駅・岩倉行き

